

休

キユウ
やすむ・やすまる・
やすめる

休

人と木とを組み合わせた形。木は古い字形では禾の形で、横木のついている柱を表し、軍門の両脇に目印の木として立てられた。戦争で手柄を立てた人を表彰することを休といい、休は「幸い、めでたい」というのがもとの意味であった。王がほうびを与える時に、貴重な貝や馬などの品物以外に休みを与えることがあり、休は「やすむ」という意味にも使われるようになった。